

臨時

埼玉県公立小学校 校長会速報

令和7年10月31日

埼玉県公立小学校校長会事務局

〒336-0021 さいたま市南区

別所1-2-8 インテルU403

TEL 048 (711) 9851

発行人 会長 福島みどり

編集人 事務局

令和7年度教育関係23団体全国集会

－子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現と学校における働き方改革及び
指導・運営体制の充実等を求める全国集会－

10月28日（火）、東京都千代田区永田町の参議院議員会館を会場として、「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための学校における働き方改革及び指導・充実・運営体制の充実等を求める全国集会」が開催されました。埼玉県からは、本会福島会長の他6名が代表として参加しました。

この全国集会は、毎年度開催されるものでありますが、今年度も本県その他、神奈川県と千葉県に全連小から動員要請があり、当日は各党の代表者や文科省職員、各団体合わせて300人を超える参加者が集結しました。以下に、集会の概要について報告いたします。

1 開 会(17:30)

2 教育関係団体代表者挨拶

日本PTA全国協議会太田会長

3 松本洋平文部科学大臣挨拶



みなさん、こんばんは。ただいまご紹介をいただきましたこのたび文部科学大臣に就任しました衆議院議員の松本洋平でございます。本日は教育関係団体主催の全国集会の開催にあたりまして、我々政府3役をお呼びいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃から皆様方におかれましては、子供たちの教育、学び、人間形成などに様々なお力添えをいただいていますことに、改めて感謝と敬意を申し上げますと存じます。

わたくし自身のこれまでの歩みを振り返ってみますと、学校の先生方、そしてわたくし自身の育

ちにかかわっていただきました多くの皆様のお力がなければ、今の自分はないと確信をもって言える様々なできごとがありました。教育は、すべての社会生活の基本となっていますし、すべての日本の国の礎となっているものと考えます。今後も皆様方には、子供たちの教育対しまして、様々なお力添えをいただきますよう、まずもってお願い申し上げます。

現代社会は、将来の予測が困難な時代と言われています。少子高齢化の進行、国際情勢の変化、グローバル化の進展など、社会課題は複雑かつ多様化しています。こうした中においても、教育は国家、社会の礎であり、持続的な発展の原動力であります。文部科学省としましては、すべての子供たちへのよりよい教育の実現をめざし、教育の振興に全力をあげてまいります。そして、質の高い日本の学校教育の要は、教職員の皆様方にあります。今般、改正された給特法の趣旨を踏まえ、学校における働き方改革のさらなる推進、新たな定数改善計画の策定を含めた指導・運営体制の充実、そして処遇改善を総合的に進め、教師の皆さんが日々生き生きと児童生徒と向き合える環境づくりを推進してまいります。

わたくしもXをやっている、様々な情報発信を行っているのですが、このX上にも現場の先生方からご意見が寄せられています。そうした現場の先生方の声に耳を傾け、ご意見を取り入れていきたいと、副大臣・政務官にも指示を出したところでございます。

また、子供たちにとりましては、経済状況によらず、すべての子供たちが質の高い教育を受けられるようにしていく、教育の質の向上と教育費の負担軽減をきめ細かく推進してまいります。未来を担うすべての子供たちの可能性を最大限に引き出す「令和の日本型学校教育」を推進するため、教育にかかわる多くの皆様のさらなるご支援・ご協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。結びに、本日ご参会の皆様様の益々のご健勝とご活躍を祈念するとともに、子供たちがこの日本の国で、それぞれの地域ですくすくと、健全にそして元気に成長していくことを心からご祈念を申し上げまして、わたくしからのあいさつとさせていただきます。

4 来賓挨拶

来賓として、松本文部科学大臣が挨拶を述べられました。続いて、自民党・立憲民主党・国民民主党・日本維新の会・公明党・社会民主党から代表として参加されました国会議員の皆様が順に挨拶を述べられました。

自民党	柴山 昌彦 衆議院議員
立憲民主党	荒井ゆたか 衆議院議員
国民民主党	西岡 秀子 衆議院議員
日本維新の会	金子 道仁 参議院議員
公明党	浮島 秀子 衆議院議員
社会民主党	ラサール石井 参議院議員

5 来賓紹介

6 主催者(教育関係団体)紹介

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会の構成団体(教育関係 23 団体)

日本 PTA 全国協議会 日本教育会 全国市町村教育委員会連合会 全国都市教育長協議会 中核市教育長会 全国町村教育長会 **全国連合小学校長会** 全日本中学校長会 全国公立小・中学校女性校長会 全国特別支援学校長会 全国連合退職校長会 全国高等学校長協会 全国公立学校教頭会 全国特別支援教育推進連盟 全国へき地教育研究連盟 日本連合教育会 全国養護教諭連絡協議会 全国公立小中学校事務職員研究会 全国学校栄養士協議会 日本教職員組合 全日本教職員連盟 日本高等学校教職員組合 全国教育管理職員団体協議会

7 アピール採択

全連小の松原修会長が 23 団体を代表してアピール(案)を読み上げました。

子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための学校における働き方改革及び指導・運営体制の充実等を求めるアピール(案)→採択



次代を担う子供たちの健やかな成長は、すべての大人たちの願いです。子供たちが全国どこに生まれ、どんな家庭環境で育ったとしても、等しく良質な学校教育を受けられるようにすることは、私たち大人、そして国の責務です。

学校教育の充実・発展に欠かせない存在である教員を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。先の国会で成立した給特法等の改正は、教員のいのちと健康を守るとともに、教職の魅力を向上させ、教員に優れた人材を確保するための第一歩です。全国的な課題である教員不足への抜本的な対策が今後も必要であり、働き方改革の更なる加速化、教職員定数の改善をはじめとした指導・運営体制の充実、処遇改善を一体的に進めることが不可欠であることは言うまでもありません。特に、昨年の財務・文科両大臣の合意で示された令和8年度からの中学校35人学級のための定数改善や外部人材の拡充など実効的な人員拡充策、学校における働き方改革を強力に進めるための諸政策の実現は、すべての子供たちの豊かな育ちと学びの保障を願う、保護者・地域・学校の切実な思いと共通しているものです。子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のため、私たちは日本のすべての人々に、教育予算の拡充による次の事項の実現を強くアピールします。

- 一 子供たちの豊かな学びを実現するため、義務標準法の改正による中学校35人学級を確実に実現するとともに、小学校教科担任制や中学校の生徒指導教員などの計画的拡充を進めること。これらの定数改善や学校事務職員などを含めた「新たな『定数改善計画』」を実現すること。更に、定数改善の進捗や働き方改革の取組状況、教員養成や次期学習指導要領の状況を踏まえつつ、高等学校段階までを含む中長期的な指導・運営体制について、充実を検討すること。

- 一 教員が教員でなければできないことに集中できる環境整備を加速化するため、改定されたいわゆる「3分類」に基づく業務適正化の更なる徹底に加え、教員業務支援員や副校長・教頭マネジメント支援員をはじめとする支援スタッフの充実、部活動の地域展開等の全国的な実施の推進を図ること。また、いじめ、不登校などの深刻な状況を踏まえ、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置充実や学校内外の教育支援センターの設置促進・機能強化を図ること。
- 一 意欲と情熱をもって教育に取り組む優れた教職員を確保するため、人材確保法や今般の給特法等改正の趣旨を踏まえ、教員の処遇改善を確実に進めること。また、教育の機会均等とその水準の維持向上を図るため、その根幹となる義務教育費国庫負担制度を堅持し、併せて、義務教育国庫負担金及び地方交付税に必要な財源確保を確実に行うこと。
- 一 家庭の経済状況にかかわらず、すべての意志ある児童生徒が安心して教育を受けられるよう、また、子育て世帯への支援を強化する観点から、家庭の教育費の負担軽減を積極的に行うこと。
- 一 右に掲げる諸方策の実現にあたっては、教育投資は未来の日本への先行投資であり、国の最重要事項であることから、既存の教育予算の削減や付け替え等によるのではなく、計画的・安定的な財源確保を行うこと。

令和7年10月28日



* 満場の拍手によりアピール文が採択される

ーアピール採択ー

* アピール文のキーワード

- ・定数改善計画の実現
- ・いわゆる3分類に基づく業務の適正化
- ・教育支援にかかる人員や施設の充実
- ・給特法の改正とさらなる働き方改革の推進
- ・家庭の教育費の負担軽減

○ 教育投資=未来の日本への先行投資

8 閉 会(18:30)

今回採択されたアピールをもとに、各教育関係団体として、それぞれが教育関係省庁や教育関係国会議員など各方面に要望活動を行うことを確認して、集会を終えました。

全国集会に参加して

さいたま市立美園小学校 河野 秀樹

子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための学校における働き方改革及び指導・運営体制の充実等を求める全国集会に、教育関係23団体の1つである全国連合小学校長会として参加させていただきました。会の中では、文部科学省の松本洋平大臣が挨拶され、文部科学副大臣中村裕之氏、文部科学大臣政務官 福田かおる氏も参列されていました。

また各党から、自民党 柴山昌彦議員、立憲民主党 荒井ゆたか議員、日本維新の会 金子道仁議員、国民民主党 西岡秀子議員、公明党 浮島とも子議員、社民党 ラサール石井議員がそれぞれ挨拶をされました。印象に残っているのが、どの党も党派を超えて取り組んでいくとの話があったことです。

今回、アピール文の最後にあるように、「教育投資は未来の日本への先行投資であり、国の重要事項である」との一文から、小林虎三郎の言葉「米百俵の米は食べばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵になる」を思い出しました。

全国集会に参加して

越谷市立鷺後小学校 鈴木 秀明

今回、松本文部科学省大臣をはじめ、各政党の教育担当議員から、貴重な話を聞くことができた。今後、予測困難な時代を生き抜く子供たちをどのようにして育成したらよいのか、また、その子供たちを育成していく教師が集中して働くことのできる環境をどのように整えていくのか等、様々な立場の方が危惧していることが分かった。予算の確保、教員の処遇改善等を早急に行うことができるように取り組んでいただきたいと強く感じた。心強かったことは、政党ごとではなく、団結してよりよい教育を求めて取り組んでいく趣旨のことを、各政党の教育担当議員から聞いたことであった。アピール内容が早期実現できることを切に願う。

本県からの教育関係23団体全国集会参加者

川越・中央小 福島会長 川口・安行小 岩本副会長
さいたま・美園小 河野さいたま市代表
越谷・鷺後小 鈴木幹事 鴻巣・広田小 田川幹事
事務局 升屋事務局長

令和7年度教育関係23団体全国集会開催要領

1. 集会の名称

子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための学校における働き方改革及び指導・運営体制の充実等を求める全国集会

2. 趣旨

参加者において「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための学校における働き方改革及び指導・運営体制の充実等を求めるアピール」を採択し、政府及び関係国会議員等に対し、教職員定数の改善や支援スタッフの拡充など働き方改革に資する取組、教員の処遇改善等を要請する。

3. 主催

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会（教育関係23団体）

4. 日時

令和7年10月28日（火） 17:30～18:30

5. 会場

参議院議員会館講堂

6. 参加者

教育関係者及び各党代表者 約300人

7. 内容

- (1) 受付 17:15～
- (2) 全国集会開会 17:30～
- (3) 教育関係団体代表挨拶
- (4) 来賓御挨拶（各党代表）
 - ・自由民主党
 - ・公明党
 - ・立憲民主党
 - ・日本維新の会
 - ・国民民主党
 - ・社会民主党
- (5) 来賓御挨拶（文部科学大臣）。副大臣及び大臣政務官御紹介
- (6) 主催者（教育関係団体）紹介
- (7) アピール採択
- (8) 全国集会閉会 18:30